

## ネオファースト生命×タスカジ提携記念特別対談～これからの家族の在り方とは～



第一生命グループの一員であるネオファースト生命保険は、株式会社タスカジと業務提携を行いました！この提携により、例えば、ネオファースト生命の保険にご加入のお客さまに向けて、タスカジの家事代行サービスを紹介することができます。提携の狙いについて、両社の社長にお話を聞きました！

### —今回の提携のきっかけは？

#### （ネオファースト生命徳岡社長）

例えばお客さまが入院されたとき、給付金を支払うだけでなく、家事代行サービスをご紹介できたらお客さまのQOL（Quality of Life）の向上につながるだろうと考えたのが提携の話をもちかけたきっかけです。

#### （タスカジ和田社長）

タスカジは家事代行サービスにより、家事負担者の心身の健康をサポートし、ひいては女性のキャリア形成に寄与していくというのが信条です。実際に家事に追われ、睡眠時間を削り、キャリア形成どころではないという女性を数多く見てきました。今回、「あったらいいなをいちばんに。」「保険で健康になろう」を掲げているネオファースト生命に声をかけていただきうれしく思っています。

#### （ネオ徳岡）

そう言ってもらえると私もうれしいです。互いの理念に共感できたことが、今回の提携に至った一番の理由だと思います。

—日本では家事代行サービスが注目されるようになったのはごく最近です。

#### （タスカジ和田）

家事代行を利用することに罪悪感を持つ人が多いです。どんなに大変でも、家族の中で、自分で、解決

しなければならない。「家事代行を使うことは問題ないんだよ」と背中を押してあげることが一番重要です。

#### **(ネオ徳岡)**

そこに協力できればと思っています。まずは家事代行サービスをお客さまにご紹介していきたい。定期的な契約内容の確認時や、給付金の支払時など、様々な場面を想定しています。

#### **(タスカジ和田)**

メッセージを発信してもらえるのが一番です。家事代行サービスに対するニーズは潜在化してしまっていますので、家事代行サービスを利用することは悪いことではないという価値観を作ることに苦労しています。一緒にメッセージを発信してもらえると心強いです。

一人びとのライフスタイルも多様化しています。

#### **(タスカジ和田)**

どんな生活を作っていけばよいか選択肢が増えすぎて迷っている方が多いと思います。タスカジは、特にライフスタイルの変わり目で利用を始めるお客さまが多いです。

結婚した、子どもができた、育児休暇から復帰するとか・・・。



#### **(ネオ徳岡)**

お客さまが保険を検討するタイミングと一緒にです。保険も含めた色々な見直しが発生するタイミングですね。

#### **(タスカジ和田)**

人生そのものを総合的に提案できればうれしいですね。私自身も会社勤務時代は育児休暇から復帰のタイミングで家族の保険について悩んだ経験があります。

—第二子出産の際に家事代行サービス利用が多いとか？

#### **(タスカジ和田)**

出産で入院する少し前から利用を始めて、まずイメージをつかむ。それから、信頼できるタスカジさんを見つけておき、いざ自身が入院した際には、家にいる家族のために来てもらう、という感じで段階的に使うのがコツです。いきなり他人を家に入れるのは抵抗感があると思うので、何度か練習をしておいて本番に備えるが良いと思います。

#### **(ネオ徳岡)**

確かに、私の経験だと、妻が第二子を出産した時は上の子どもを連れて外出に出るしかありませんでした。家に料理の作り置きとかあれば本当にありがたいと思います。

#### **(タスカジ和田)**

作り置き料理にお子さんの好きなものを入れてもらったり、掃除をしてもらうこともできます。子ども部屋の準備という事で整理収納アドバイザーの方に依頼することもできますよ。

—ネオファースト生命×タスカジで見えてくる未来。

#### **(タスカジ和田)**

親世代の家族のイメージを引きずってしまうと、家事代行サービスの利用にはまだまだ抵抗感が

あると思います。「料理は母親の役割だから・・・」みたいな。

そうではなく、外部に力を借りてチームで問題を解決していく新しい家族の在り方があるということを知ってもらいたい。そういう思いで、「核家族から拡大家族へ家族の形を再定義します」というメッセージを当社のビジョンとして発信しています。

**(ネオ徳岡)**

ライフスタイルが変われば家事の在り方も変わるし、保険の在り方も変わる。

世の中の変化にあわせて色々なものをどんどん変えていかないといけない。

健康になることで保険料が安くなって、その分で家事代行サービス

を利用するといったような、両社の関係性が築ければ嬉しいですね。



対談日：2018年5月29日